



# 環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第15号 平成24年9月  
発行/環境公共推進会議事務局  
〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県農林水産部農村整備課内  
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

## ■最近の話題

### 環境公共 を支える技術に関する情報提供・視察会を開催

今回は、去る8月9日、報道関係者を対象に「環境公共」を支える技術のPRを目的として行った情報提供・視察会の概要をお知らせします。当日は以下の5つの技術を紹介しました。

#### 1. 土壌硬化剤利用畦溝畔（青森市）

この技術は、酸化マグネシウムを主成分とした土壌硬化剤と土の混合土を、水路の溝畔などに貼り付けることで、土砂の崩壊防止や除草剤に頼らない雑草抑制を可能とする環境保全などの効果が高い技術です。特に高低差があって除草作業が危険な場所への施工が有効です。



白い部分が土壌硬化剤の使用箇所

#### 2. 小水力発電（五所川原市）

青森県土地改良事業団体連合会では、昨年度、長橋ため池に全国初となる、ため池によるダム式の水力発電施設を設置し、実用化に向けた検証を行っています。年間で一般家庭6世帯分に相当する発電電力はすべて電力会社に売電し、その収入は農業水利施設の維持管理に充てることとしています。



ため池直下にある小水力発電設備

#### 3. 地下かんがいシステム（中泊町）

本システムは、暗渠管を通じて、土壌中の地下水位を自在にコントロールすることにより、水稻の直播栽培の安定生産や、大豆などの転作作物の収量増をはじめ、水管理の労力節減が期待できます。本システムを導入して水田を経営している中谷保さんは、今後、様々な転作作物にも応用できると期待を膨らませています。

#### 4. 複層林と丸太柵・丸太伏工（中泊町）

郷土樹種であるヒバを活用した複層林の整備により、“きれいな水”を供給する水源かん養機能が発揮されるとともに、間伐材を使った丸太柵工により土砂流出防止機能が向上します。また、間伐材を活用した丸太伏工は、法面からの植生繁茂を抑制し、刈払にかかる労力軽減が期待できます。



丸太柵工による森林整備

#### 5. 藻場造成（鰯ヶ沢町）

本県初の試みである海岸事業による高潮対策と水産環境整備事業によるホンダワラ藻場造成の合併施工が行われ、日本海沿岸の水産資源の増大と生態系の維持回復を図る取組として期待されています。

県では、今後もこうした技術を活用しながら、着実に「環境公共」の取組を推進していくこととしています。



茶色部分が造成された藻場

## ■「環境公共」事例紹介

### 出来島大堤地区（つがる市）

～ ため池環境資源を未来へ繋げよう ～

#### 1 地区の概要

つがる市出来島地区には、124haの水田を潤す水瓶として8つのため池があります。その中には日本自然百選にも指定されているベンセ沼があり、オオセッカをはじめとした多様な生物が生息しています。

ところが、戦後の開畑による森林伐採の影響で、出来島大堤ため池では土砂流入による堆砂が著しく、貯水量の確保が困難となっていたことから、ため池等整備事業（H21～24）で浚渫を行うとともに、平成21年8月には「出来島大堤地区環境公共推進協議会」を立ち上げ、“ため池環境資源を未来へ繋げよう”を合言葉に、生態系保全にも取り組むこととしました。



出来島地区周辺のため池群（8箇所）

#### 2 ため池環境の保全・再生に向けた取組



ジュンサイの移植作業

具体的な取組として、協議会では「ジュンサイの移植」と「外来魚の駆除」を行いました。

きれいで澄んだ淡水の池沼に自生するジュンサイの保全を目的に、昨年11月、ジュンサイの根付きが良くなるよう、藁わらツトに泥だんごと一緒に包み、スコップで掘った植穴に移植し、今年7月には、環境公共プロフェッショナルの井上氏参加の下、協議会が移植状況を確認するため生育調査を行い、移植後の根付きが順調に推移していることを確認しました。



環境公共プロフェッショナルによる現地指導

また、ため池に生息する在来種を守る取組として、今年9月、鬼沼を対象に協議会メンバー、地域住民、地区の子どもたちの計70名が外来種のブラックバスを駆除しました。

協議会では平成21年度から駆除に取り組み、鬼沼では昨年に続き2回目で、今年は昨年より33匹多い45匹のブラックバスを捕獲しました。



ジュンサイの生育調査

#### 3 今後の取組

事業による浚渫は昨年度で終了していますが、ため池環境資源を未来へと着実に引き継いでいくため、協議会が中心となってジュンサイの移植や外来魚の駆除を継続し、舟を浮かべた昔ながらのジュンサイの収穫風景の復活と、8つのため池がもたらす“きれいな水”で育まれた安全・安心な「出来島米」のPRに繋げていきたいと考えています。



外来魚の駆除作業